街路樹伐採等に関する説明会



1. 街路樹を取り巻く現状
2. 伐採に至るまでの経緯
3. 更新の考え方
4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

第1回
令和8年10月26日（月） 午後7時～
永山公民館視聴覚室

第2回
令和8年10月29日（木） 午後7時～
乞田・貝取ふれあい館ホール1

第3回
令和8年10月31日（土） 午前10時～
中央図書館活動室1

多摩市役所
都市整備部道路交通課

1．街路樹を取り巻く現状

2．伐採に至るまでの経緯

3．更新の考え方

4．乞田川サクラ更新計画の検討状況

１．街路樹を取り巻く現状

全国的に倒木事故が増加

近年、強風や台風、集中豪雨の発生が増え、老木化した街路樹の倒木や枝折れによる事故が全国で多発

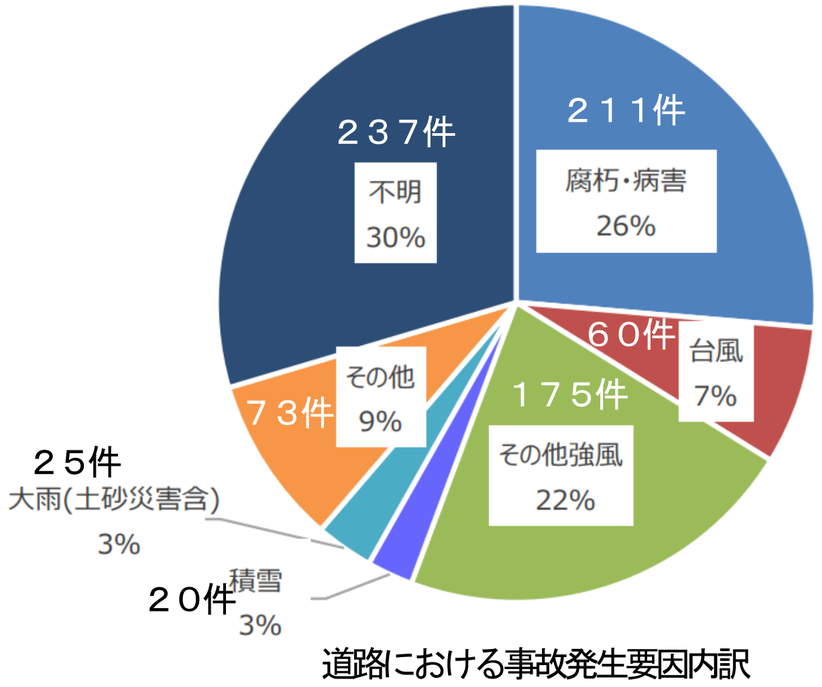


多摩市道５－１１号歩線（貝取３丁目）：令和８年１０月２１日

倒木等による事故に関する全国調査について（国土交通省）

調査内容：令和３年４月１日～令和６年１１月７日に発生した樹木の倒木等の事故発生状況

【道路の結果概要】計８０１件（うち、人身事故３３件）



道路における事故発生要因内訳

１．街路樹を取り巻く現状

都内でも倒木・枝落下による重大事故が発生

①日野市での枝落下事故

発生日：令和６年９月１２日

概　要：日野市多摩平の緑地においてイチョウの枝が落下し、３０代男性が**死亡する事故**が発生

対応

管理する緑地や公園、道路沿いの樹木の**緊急点検等を実施**

②都立砧公園での倒木事故

発生日：令和８年３月～７月

概　要：都立砧公園において、高さ１０ｍを超えるサクラが倒木し、７０代女性が**下敷きとなる人身事故**が発生。また、ヒマラヤスギの倒木による**車両損傷事故**のほか、サクラ、コナラ、ケヤキなど計６本の倒木が相次いで発生

対応

一部エリアの立入制限や**ＡＩを活用した点検を実施**

1．街路樹を取り巻く現状

街路樹点検の実施促進のためのガイドライン

令和８年３月
国土交通省策定

背景

・街路樹の老木化や極端な気象現象の頻発化による事故の発生
・都市の環境の変化に伴うリスク

＋

メリハリの効いた点検実施の必要性

・人員や予算制約等による定期巡回の未実施
・点検結果のデータ蓄積・共有、技術者の育成・技術力の向上、専門的な診断や新技術の活用

↓

街路樹点検の実施を促進するために、点検・診断の効率化・重点化の考え方を提示

↓

倒木・落枝等による事故の未然防止を図る

多摩市では、先駆けて
令和６年度から街路樹
診断を進めています

1．街路樹を取り巻く現状

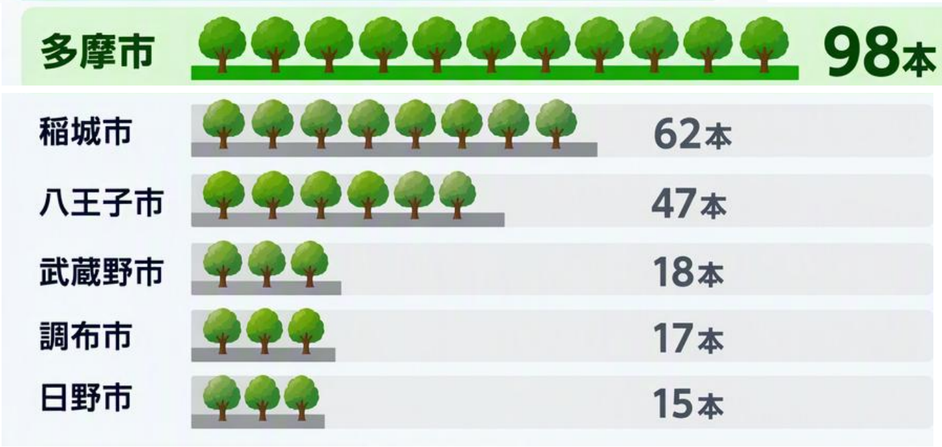
多摩市の高木の本数（令和８年４月１日時点）

街　路　　約　６，９００本
遊歩道　　約　７，２００本
合　計　　約１４，１００本

多摩ニュータウン開発時に植栽されてから
５５年以上経過し、様々な問題が発生している

（例：大径木化、老木化、根上がり、越境、倒木、枝折れなど）

人口1,000人あたりの街路樹本数（本）　※令和7年4月1日現在



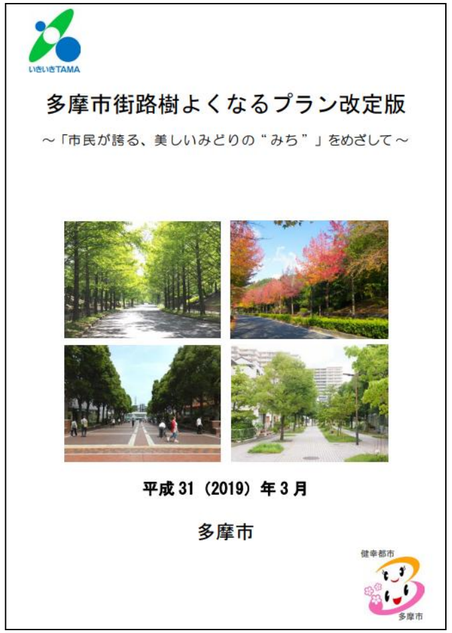
その他の基本データ

自治体名	人口（人）	面積（km²）	道路延長（m）	街路樹（本）	道路1kmあたりの本数（本）
多摩市	146,685	21.01	293,671	14,378	49.0
日野市	192,228	27.55	455,583	2,924	6.4
調布市	244,704	21.58	406,984	4,209	10.3
八王子市	575,679	186.38	1,366,370	26,823	19.6
武蔵野市	150,757	10.98	128,085	2,698	21.1
稲城市	95,218	17.97	239,914	5,912	24.6

1．街路樹を取り巻く現状

多摩市街路樹よくなるプラン改定版の基本方針

- 安心・快適な歩行空間として整備を図る
- 持続可能なみどりを育てる
- みんなが参加・協力し、みどりを育てる



方針を実現させるための対応策

対応策１	交通支障や防犯上の支障への対応
対応策２	緑の量の適正化
	並木の維持が困難になっている路線の更新
対応策３	緑の質の改善
	更新

1．街路樹を取り巻く現状

伐採後の植樹ます等の利用



伐採後

抜根

植栽しない



舗装し歩行空間として利用

植栽する





草花や地被植物導入

1．街路樹を取り巻く現状

改善モデル路線の事例

改善モデル路線の１つである遊歩道（多摩市道６－１０号歩線）において、市民の皆さんと現地状況を確認し、意見交換を重ねて試験的に更新



出典：国土地理院ウェブサイト　地理院地図（淡色地図）を加工して作成
https://maps.gsi.go.jp/#16/35.618549/139.422019/&base=pale&ls=pale&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m



意見交換の様子



施工前



施工後

1．街路樹を取り巻く現状

2．伐採に至るまでの経緯

3．更新の考え方

4．乞田川サクラ更新計画の検討状況

2. 伐採に至るまでの経緯

近年の被害・倒木状況

多摩市道では、降雪、台風、大雨等により倒木が発生

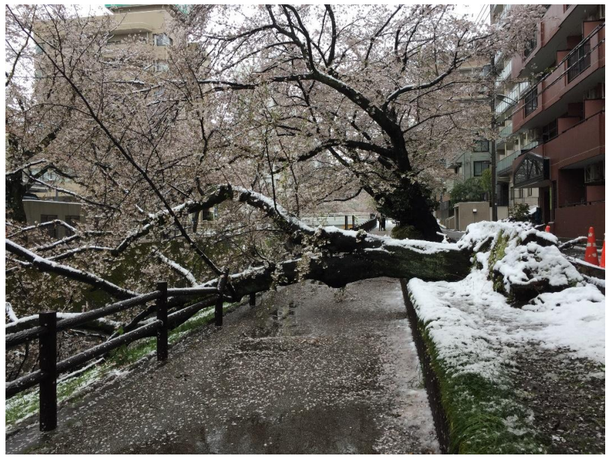
近年の倒木件数（本）	
令和元年度	28
令和2年度	2
令和3年度	0
令和4年度	0
令和5年度	4
令和6年度	5
令和7年度	5



令和元年9月　レンガ坂



令和7年11月　山王下地区



令和2年3月　乞田川



令和8年6月　上之根大通り

2. 伐採に至るまでの経緯

街路樹診断の進め方

1 **過去に幹折れや倒木などの被害が生じた６樹種**

東京都「街路樹診断等マニュアル」で**優先診断すべき樹種**とされています。



2 **近隣市で落枝による死亡事故が発生**

近隣市において、イチョウの落枝により死亡事故が発生しました。





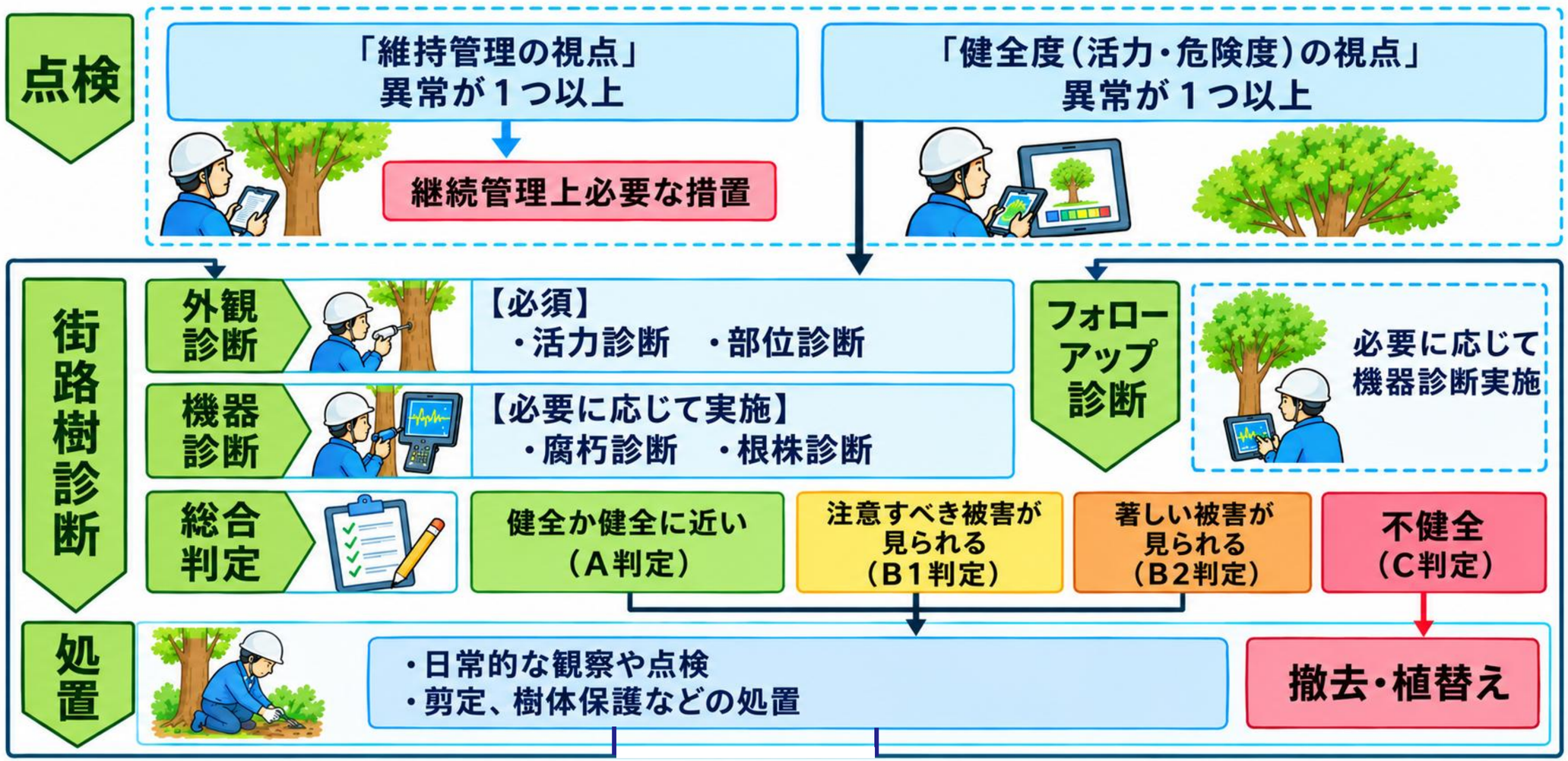
3 **市民の皆さまの安全を守るため**

倒木や枝折れによる事故を未然に防ぐため、**令和６年度から７樹種**の街路樹診断を開始しました。**※１０か年計画**



2. 伐採に至るまでの経緯

街路樹管理のフロー



2. 伐採に至るまでの経緯

総合判定基準

※ 腐朽空洞率とは・・・樹木幹の内部に腐朽によって生じた空洞の割合

総合判定	外観診断判定基準（概略）	腐朽空洞率 参考基準値	樹勢イメージ
A 健全か健全に近い	異常がないか 被害が軽微である	10%未満	
B1 注意すべき被害が見られる	今後活力の低下や 腐朽の進行が予想される	10%以上 30%未満	
B2 著しい被害が見られる	幹や根の腐朽が進行 している	30%以上 50%未満	
C 不健全	極めて不健全な状態で 回復の見込みがない	50%以上	

2. 伐採に至るまでの経緯

サクラの異常事例

【キノコ】
腐食が進んでいる目安



【開口空洞】
根や幹の内部に空洞があること



【樹皮枯死】
枯れきって、倒木の原因となる



【巻き根】
自らの根で根元を巻いている状態



【露出根】
地表に根が露出したもの



【傾　斜】
街路樹が傾いている状態



2. 伐採に至るまでの経緯

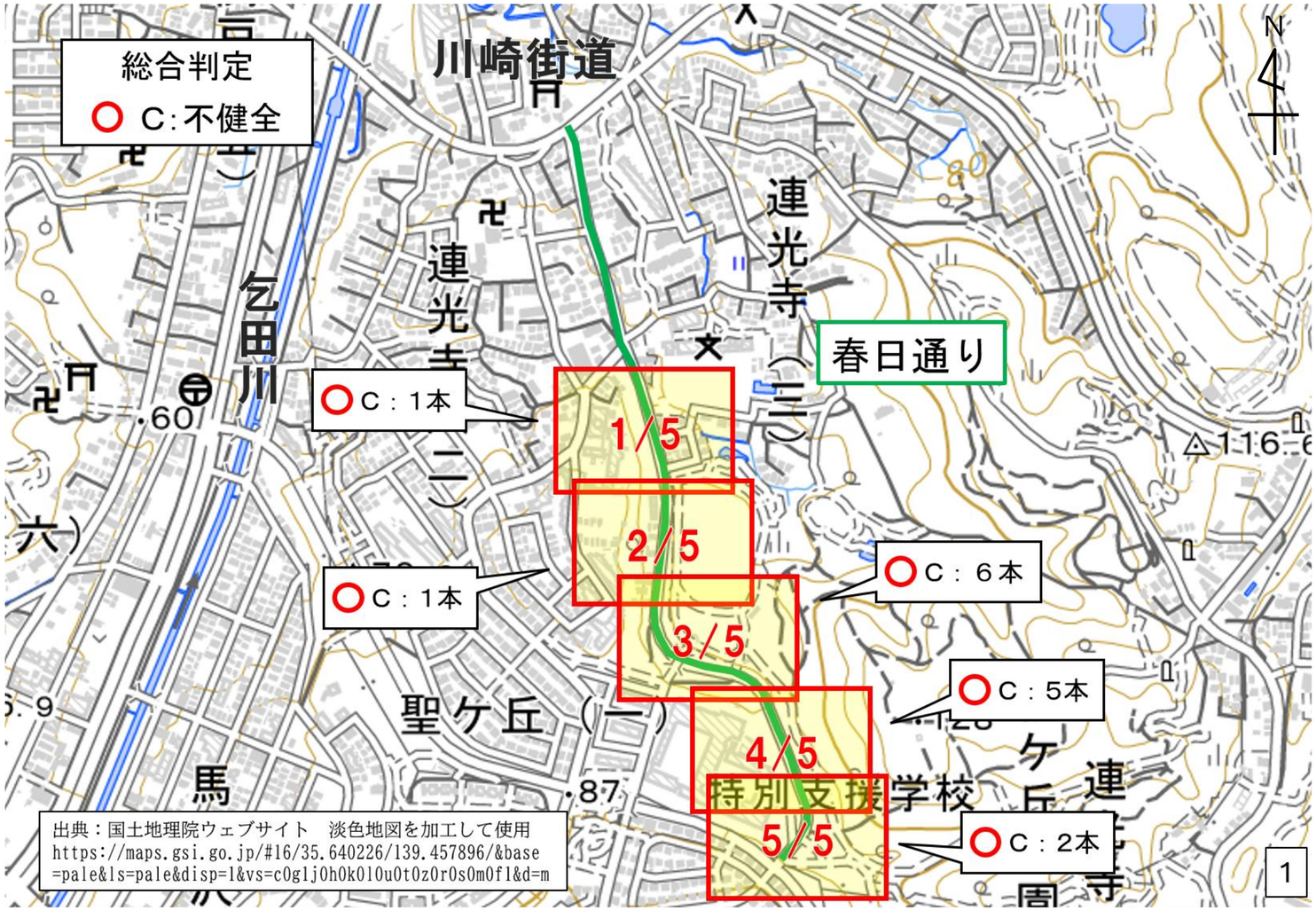
不健全（C判定）となったサクラ



2. 伐採に至るまでの経緯

街路樹診断結果の一例

別紙、Ｐ１参照



2. 伐採に至るまでの経緯

街路樹診断結果の一例

別紙、Ｐ２参照



1．街路樹を取り巻く現状

2．伐採に至るまでの経過

3．更新の考え方

4．乞田川サクラ更新計画の検討状況

3. 更新の考え方

安全を最優先に街路樹を伐採します



- 市民の皆さんの安全・安心を最優先
- 倒木や落枝による事故を未然に防ぐ
- 不健全（C判定）な街路樹は現地にてお知らせ（説明会は今回が最後）
- 可能な限り速やかに伐採

3. 更新の考え方

なぜ乞田川を優先するのか

- 多摩市を代表する景観
- 市民の憩いの場
- 多くの来訪者が訪れるサクラの名所
- 本市の重要な観光資源



- 限られた財源の中では、 すべての街路樹を更新することは困難
- メリハリをつけて、良好な道路空間を保全

1. 街路樹を取り巻く現状

2. 伐採に至るまでの経過

3. 更新の考え方

4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

策定の目的

並木全体の老朽化を踏まえ、将来にわたりサクラの景観を楽しめる遊歩道空間として継承していくため、計画的に更新を進めていきます。



倒木したサクラ



空洞化したサクラの断面

現状と課題

- 令和２年３月及び令和６年２月に降雪による倒木が発生
- 診断の結果、不健全（Ｃ判定）８１本（21％）、著しい被害が見られる（Ｂ２判定）３０８本（78％）
- 樹勢が回復する見込みがない

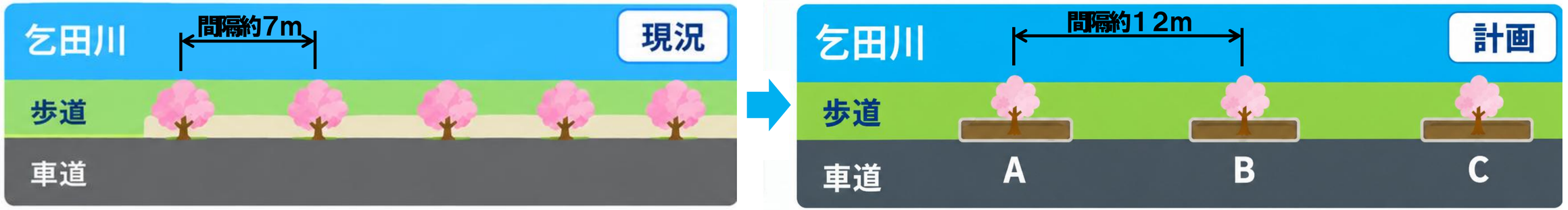
街路樹診断結果

	平成29･30年度		令和6年度
著しい被害が見られる（B2判定）	42本（4%）	急速に悪化	308本（78%）
不健全（C判定）	11本（2%）		81本（21%）

4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

更新のイメージ

- 現況の植樹帯を独立した植樹ますに変更
- 植栽間隔はサクラが干渉しあわない約１２ｍを確保
- 腐朽率の高いサクラが多く残っている区間から工事着手



ポイント

1 植樹帯 → 植樹ますに変更

植樹帯（現況）　植樹ます（計画）

2 植樹間隔 約12mを確保

サクラ同士が干渉しあわないよう、間隔を約12mとします。

3 腐朽率の高い区間から着手

腐朽率の高いサクラが多く残っている区間から、優先的に更新を進めます。

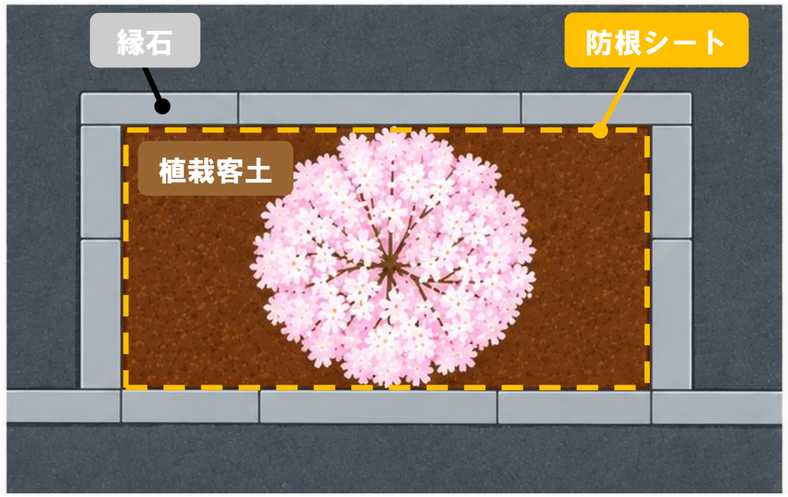
4 より良い景観と安全な歩行空間のために

サクラの健全な育成と、快適で安全な歩行空間の確保を目指します。

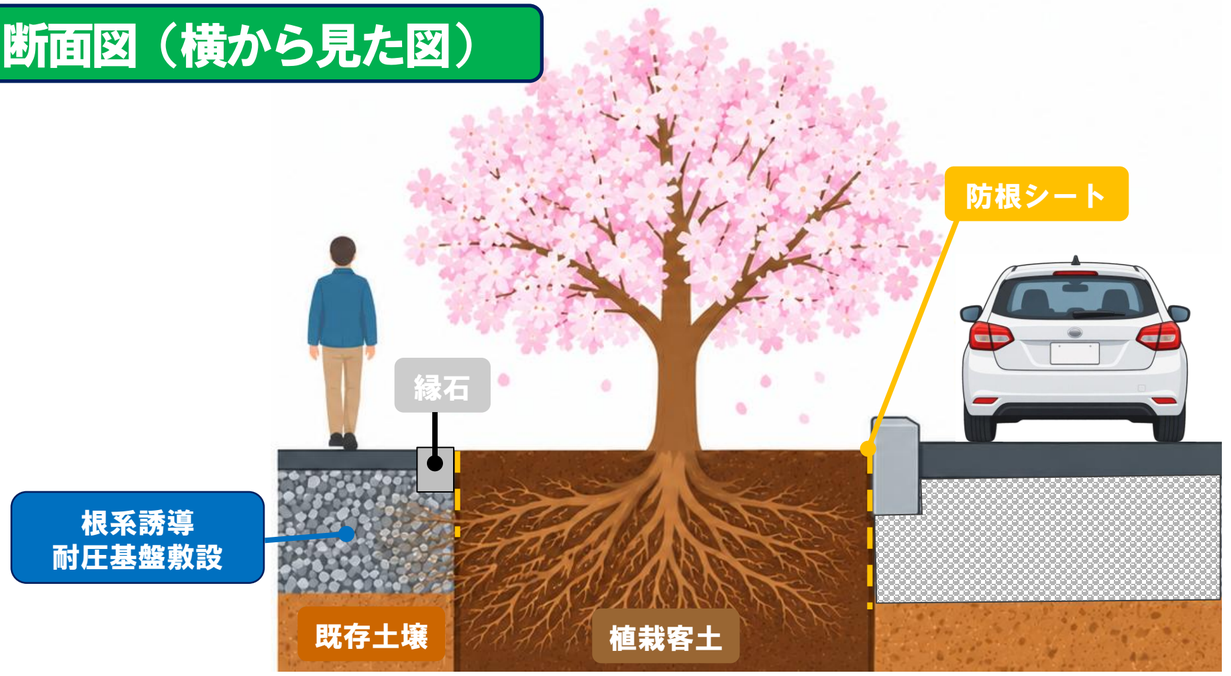
4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

植樹ますの構造（イメージ）

平面図（上から見た図）



断面図（横から見た図）



根系誘導・耐圧基盤敷設：サクラの根が広がるように誘導しやすい基盤を作ります。

防根シート：根が周囲に広がるのを防ぎ、舗装や地下構造物への影響を抑えます。

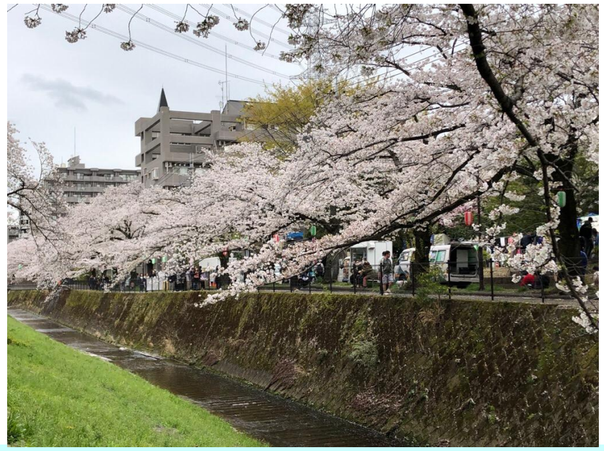
縁石：植樹ますの枠となる縁石です。

植栽客土：サクラが育つための土です。

4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

新植するサクラの検討

	樹種	概要	樹形	花形	花の大きさ	花色	開花期
現況	**ソメイヨシノ**	てんぐ巣病に罹るとともに、最近は増生症状の罹病樹が増加	傘状	一重咲	中輪	淡紅	4月上旬
計画	**ジンダイアケボノ**	ソメイヨシノ系の品種で、てんぐ巣病にも強い	傘状 (小振り)	一重咲	中輪	淡紅 (やや濃い)	4月上旬 (数日早い)





ソメイヨシノ





ジンダイアケボノ
（ソメイヨシノの代替品種）

4. 乞田川サクラ更新計画の検討状況

今後の予定

- **令和９年１月**

  更新計画（素案）説明会及び

  パブリックコメント

- **令和９年３月**

  更新計画の策定

- **令和９年度～**

  遊歩道更新工事に着手（サクラの更新）

  ※１０か年計画



※このパース図は、諏方下橋右岸（車道と歩道に高低差がある区間）のイメージです。

ご清聴ありがとうございました。



多摩市役所　都市整備部　道路交通課
〒206-8666　多摩市関戸6-12-1
☎042-338-6864・6859
📠042-339-7754